



ニュースレター

2021年8月

親愛なる皆さま

2021年第1期ニュースレターをお送りいたします。

悲しみの1年

最後に1がつく年は、困難な年、との言い伝え

1991年：春に霜が降り、ブドウの木が大打撃を受けました。この年、オリヴィエとセバスチャンが学業を終えて、生産に加わります。収穫は例年に比べわずか30%。嫌な予感の的中です。収穫が大幅に減り、言い伝えが現実となりました。

2001年：優れた質ながらも、収穫高はごくわずか。この年だけのブドウを使ったビンテージシャンパーニュは作られませんでした。

2011年：8月31日時点では幸先の良いスタートだったのですが、天気は気まぐれなもので、9月になると急に冷え込みました。ブドウは熟しきらず、代表的品種、ムニエが集中栽培されている区画では、状況はさらに絶望的に。例年よりもしっかりと選別をして、熟して健康なブドウだけを取り出しました。

2021年：まだまだ想定外の出来事は続き、ここ30年で最も困難な事態に見舞われました。

4月には、シャルドネが栽培されている区画を中心に、芽吹いたばかりの木に霜が降り、収穫難を予感させました。

6月中旬にも霜が降り、さらに激しい雷雨にも数回見舞われました。葉に大した打撃がなかったことは幸運でしたが、近隣の村ではテニスボール大の雹がブドウ畑を直撃しました。

5月から7月にかけてのブドウ木の活動期には、毎朝朝露や霧などの高湿度現象や、毎週大雨が起き、気温は20度前後に留まったまま。べと病の温床となるような気候です。6月に入ると葉に症状が出始め、夏になる頃には大切な房にまで魔の手が。病気との必死の戦いが続き、毎日のように房が死ぬのを見ながら、何とか空気が乾燥して気温が上昇してほしいと祈るような気持ちで過ごしました。



2021年はどんな出来でしょうか？ 9月をお楽しみに！

海外展開

コロナ禍が収まらず、2020年3月以降海外への出張はできませんでしたが、インポーターの方々には、弊社を信頼くださり、定期的に注文くださいました。おかげさまで、早くも2021年7月には、海外出荷量が2019年、20年の年間出荷量相当に達しました。この調子が年末まで持続することを願うばかりです。

お客さま方は、外出したい、お祝いしたい、シャンパーニュをお供に楽しい時間を過ごしたい、と待ちきれない思いなのではないでしょうか。いずれにせよ、嬉しい傾向ではあります。

イギリス、フィンランド、オランダ、ベルギー、レユニオン島、ニューカレドニアなど、従来のマーケット対応を強化しましたが、最近大型注文を入れてくださった日本にも注力しています。

また新たにイタリアの開拓も進んでおり、弊社のほとんどのキュヴェは、新たにディストリビューターとなった [3K Wines](#) でお求めいただけます。

オランダのディストリビューター [Premier Cru Wijnen](#) にも、大活躍いただいています。マーストリヒトの高級レストラン [Studio](#) では、弊社のミレジム・エリターージュ 2013 が、レストランの顔としてサービスされています。シェフ、ギルバート・フォン・ベルクは、以前勤めていたレストランでミシュランの星を獲得するほどの実力派。やはりマーストリヒトの高級レストラン [Prix-de-Rome](#) でも、ブリュット・トラディションがサービスされています。

泡のように爽やかな敬意をこめて
オリヴィエ&セバスチャン・グラティオ

1991-2021年：30年続く共同作業

30年前、祖父母のところに、ブドウ栽培・ワイン醸造の勉強を終えた私の父セバスチャンと叔父オリヴィエがやってきました。このときはじまった共同作業は、30年経った現在に至るまで続き、信頼関係は強まる一方です。社内での仕事は自然と分担され、父はブドウ畑での作業、人事、事務作業を担当。オリヴィエもブドウ畑で作業しており、主に営業、テイスティング、納品、輸出も担当しています。



着任当時の2人は、ブドウ畑の開発に集中し、12ヘクタールだった畑は、現在では18ヘクタールにまで広がりました。

2000年に入ると、営業活動が活発になり、新マーケット、パリへの配達、新たな流通網（ワイン専門店、委託）の開発が進みました。10年前には海外展開に踏み切り、こんにちではヨーロッパ、アメリカ、アジアに進出しています。1991年になると、2人はシャンパーニュ地方若手生産者グループ、ヴァレ・ド・ラ・マルヌ協同組合理事会（かつて私たちの曾祖父が23年間会長を務めていました）、シャンパーニュ&ヴ（シャトー・ティエリーのワインツーリズムフェスティバル）、ブドウ畑の水道工事、ピノ・ムニエ同業者組合（伝統あるシャルリー・シュル・マルヌの生産者の団体）など、様々なワイン関係団体の活動にも参加するようになります。

こうした家族の成功は、私にとって大きな誇りであり、両親や祖父母の業績を受け継いでいくのは、12代目である私たちの運命であり、責任だと考えます。

ここに父と叔父を代表し、お客さま、仕入れ先の方々、そして従業員に心から感謝いたします。この素晴らしい冒険を今まで支えてくださり、そしてこれからも支えてくださるのは皆さま方なのです。

マティス

最新ニュースをチェック

インターネットサイト : www.champagne-gratiot-pilliere.com

フェイスブック : www.facebook.com/champagne.gratiot.pilliere

ツイッター: [@ChampagneGratiot](https://twitter.com/ChampagneGratiot)

インスタグラム: https://www.instagram.com/champagne_gratiot_pilliere/